

デモステネス『弁論集4』

初版第一刷 正誤表 (木曾明子 担当分)

本文、註	誤	正
9 頁註 (6)	将軍シモンとベリサデス	→ 将軍シモンとピアノル
15 頁註 (1)	障害の裁判を	→ 傷害の裁判を
27 頁註 (3)	碑文 (IGF 104.37) 以下と	→ 碑文 (IGF 104.37 以下) と
42 頁 12 行目	ではないこと	→ ではないことと
57 頁註 (4)	交戦状態に入り	→ 交戦関係に入り
同頁同註	ピロクラテスの交渉	→ ピロクラテスらの交渉
59 頁註 (1)		→ 削除
70 頁 8 行目	があるでしょうか	→ があるでしょうか
79 頁註 (5)	アルタクセルクセス二世	→ アルタクセルクセス三世
93 頁註 (2)	四世紀に	→ 前四世紀に
101 頁註 (2)	創設に寄与した	→ 復活に寄与した
105 頁註 (7)	トゥキュディデス	→ トウキュディデス
同頁同註	『組織について (第十三弁論)』	→ 『制度について (第十三弁論)』
107 頁註 (1)	『組織について (第十三弁論)』	→ 『制度について (第十三弁論)』
111 頁註 (3)	列柱回廊式の	→ 列柱式の
112 頁 16 行目	キュノルサルゲス	→ キュノサルゲス
135 頁註 (3)	ディナルコス	→ デイナルコス
同頁註 (7)	「補註 Q 参照。」	→ 同頁註 (8) の末尾へ移動
150 頁 9 行目	上程してはならず	→ 裁判に付してはならず
169 頁註 (6)	公務が滞た	→ 公務が滞った
181 頁註 (3)	買色行為	→ 売色行為
同頁註 (4)	買色行為	→ 売色行為
185 頁註 (5)	ステイリア区	→ ステイリア区
200 頁 16 行目	目録作成……にせずに	→ 目録作成……をせずに
201 頁註 (2)	買色の前歴	→ 売色の前歴
205 頁註 (1)	フォロス	→ ポロス
208 頁 4 行目	買色行為	→ 売色行為
補 註		
302 頁上段	……討議されたが、それが第一回目で	→ ……討議されたが、他の普通民会では

10-12 行目	あることはなく、大体二回目以降であり、他は通常民会（エックレーシアー・シュンクレートス）と呼ばれた。	→	神事などが扱われたほか、緊急時には変則的に臨時民会（エックレーシアー・シュンクレートス）が開催された。
同頁上段	……といわれるアテナイの総人口	→	……といわれたアテナイの市民総数
12-13 行目			
同頁下段 2 行目	加入勧誘に務めた。	→	加入勧誘に努めた。
305 頁上段	アンピクテュオーン同盟の盟主となつ	→	アンピクテュオニア同盟の主導権を握
45 行目	たテバイ		ったテバイ
同頁上段	……前三四七年ピリッポス二世のアン	→	……アンピクテュオニア同盟の主導権
16-18 行目	ピクテュオーン同盟盟主就任（前三四六年）をもって		掌握をもって
同頁下段	アンピクテュオーン同盟盟主への就任	→	アンピクテュオニア同盟の主導権獲得
19 行目	を		（前三四六年）を
308 頁下段	『オリュントス情勢、第一演説（第一	→	削除
13 行目	弁論）』一二		
313 頁上段	前三三九年	→	前三九九年
9 行目			
解 説			
327 頁註 (1)	ポキスのパウロス	→	ポキスのパユロス
338 頁 15 行目	前三四七年まで	→	前三五一年初頭まで
344 頁 10-12 行目	ちなみに後年政治家として活躍したデモステネスは、マケドニアへの使節を務めたときの背任を疑われて、『使節職務不履行について（第十九弁論）』（前三四三年）をもって弁明した。告発者は同行した宿敵アイスキネスであり、その筆になる同じ題名の『使節職務不履行について（第二弁論）』も現存している。	→	ちなみにデモステネスと同じく後年政治家として活躍した弁論家アイスキネスは、対マケドニア使節時の背任を疑われて、『使節職務不履行について（第二弁論）』をもって弁明した。告発訴追者は同行した宿敵デモステネスであり、その筆になる同じ題名の告発弁論『使節職務不履行について（第十九弁論）』（前三四三年）も現存している。
361 頁註 (2)	『アテナイ史』	→	『アッティカ史』
索 引			
4 頁右欄	（「メノン」の項）XXIII.119	→	XXIII.199